

平成22年10月1日

大学コンソーシアムやまがた
最上川学プロジェクト推進委員会
各委員 殿

大学コンソーシアムやまがた
最上川学プロジェクト推進委員会
委員長 中島 勇喜

最上川学プロジェクト推進委員会の開催(持ち回り)について(報告)

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、9月22日付け文書によりお諮りしました下記の審議事案については特段のご意見がございませんでしたので、原案どおりご承認いただいたものとして取り扱いさせていただきます。

各委員の方にはお忙しい中、審議にご協力頂きましてありがとうございました。今後とも大学コンソーシアムやまがたをよろしく願いいたします。

記

審議事案

- 平成22年度後期開講科目「最上川の匠達に会うⅡー秋冬分野ー」
「最上川の匠達に聞くⅡー里・森分野ー」

上記科目の不開講について

※理由 担当教員(山形大学大学連携推進室 准教授 出川 真也)が
開講出来なくなった為

大学コンソーシアムやまがた事務局
山形大学大学連携推進室内
TEL 023-628-4972
eメール dairen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成22年 9月22日

大学コンソーシアムやまがた
最上川学プロジェクト推進委員会
各委員 殿

大学コンソーシアムやまがた
最上川学プロジェクト推進委員会
委員長 中島 勇喜

最上川学プロジェクト推進委員会の開催(持ち回り)について(通知)

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、過日、最上川学プロジェクト推進委員会(持ち回り審議)が開催され、各委員の方からは特段のご意見もなく審議内容がご了承されましたが、引き続き下記の件に関してご審議いただきますようよろしくお願い申し上げます。

本来であれば臨時委員会を開催してご審議いただくべきところですが、緊急を要する事案ですので、本文書による持ち回り臨時委員会による審議とさせていただきますのでご了承願います。

本件についてご意見等がございましたら、9月28日(火)までに事務局あてにお知らせ願います。また、ご意見等がない場合にはご了承いただいたものとして取り扱わせていただきますのでご承知おき願います。

記

審議事案

- 平成22年度後期開講科目「最上川の匠達に会うⅡー秋冬分野ー」
「最上川の匠達に聞くⅡー里・森分野ー」

上記科目の不開講について

※理由 担当教員(山形大学大学連携推進室 准教授 出川 真也)が
開講出来なくなった為

大学コンソーシアムやまがた事務局
山形大学大学連携推進室内
TEL 023-628-4972
eメール dairen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成22年 9月 8日

大学コンソーシアムやまがた
最上川学プロジェクト推進委員会
各委員 殿

大学コンソーシアムやまがた
最上川学プロジェクト推進委員会
委員長 中島 勇喜

大学コンソーシアムやまがた最上川学プロジェクト推進委員会の開催
(持ち回り)について(通知)

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、過日、最上川学プロジェクト推進委員会の開催に向けて日程の調整についてご依頼しておりましたが、各委員の方々からご回答をいただきました。お忙しい中ご協力をいただきましてありがとうございます。

しかし、各委員の日程の調整が難しく会議開催までには至りませんでしたので、今回は本文書による持ち回り審議とさせていただきますのでご了承願います。

本件についてご意見等がございましたら、9月17日(金)までに事務局あてにお知らせ願います。また、ご意見等がない場合にはご了承いただいたものとして取り扱わせていただきますのでご承知おき願います。

記

審議事案

1. 平成22年度前期経過報告について
(最上川俯瞰講義・最上川の匠達に聞くⅠ・最上川の匠達に出会うⅠ)
2. 平成22年度後期の予定について
(最上川の自然と文化・最上川の匠達に聞くⅡ・最上川の匠達に出会うⅡ)
3. 最上川フォーラムについて
(11月～12月開催予定)
4. その他
来年度に向けて

大学コンソーシアムやまがた事務局
山形大学大学連携推進室内
TEL 023-628-4972
eメール dairen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

配 付 資 料

1. 資料1 平成22年度最上川学プロジェクト推進委員会 委員名簿
2. 資料2-1 平成22年度前期開講科目「最上川俯瞰講義」実施内容報告
3. 資料2-2 平成22年度前期開講科目「最上川の匠達に聞くⅠ」実施内容報告
4. 資料2-3 平成22年度前期開講科目「最上川の匠達に会うⅠ」実施内容報告
5. 資料3-1 平成22年度前期開講科目「最上川の自然と文化」実施内容案
6. 資料3-2 平成22年度前期開講科目「最上川の匠達に聞くⅡ・出会うⅡ」実施内容案、フォーラム開催案、その他・来年度にむけて

最上川学プロジェクト推進委員会会議 次第
(持ち回り審議)

議事

1. 前期経過報告について

(最上川俯瞰講義、最上川の匠達に聞くⅠ、最上川の匠達に出会うⅠ、)

資料 2

2. 後期の予定について

(最上川の自然と文化、最上川の匠達に聞くⅡ、最上川の匠達に出会うⅡ)

資料 3

3. 最上川フォーラムについて

(11月～12月開催を予定)

資料 3

4. その他

来年度に向けて

資料 3

最上川プロジェクト推進委員会 委員名簿

	所 属	氏名	職 名
委員長	山形大学	中 島 勇 喜	理事・副学長
副委員長	山形大学	下 平 裕 之	准教授
委員	羽陽学園短期大学	柏 倉 弘 和	准教授
〃	羽陽学園短期大学	佐 藤 利 男	教務課長
〃	鶴岡工業高等専門学校	山 田 充 昭	准教授
〃	鶴岡工業高等専門学校	黒 沼 宏 成	企画室長
〃	東北文教大学・短期大学部	川 越 ゆ り	講師
〃	放送大学山形学習センター	庄 司 伸 二	事務長
〃	山形県立産業技術短期大学校山形校	渡 辺 雄 二	教務学生専門員・教授
〃	山形県立産業技術短期大学校山形校	須 貝 幸 司	教務学生主幹
〃	山形県立農業大学校	舟 越 利 弘	教授
〃	山形県立農業大学校	田 口 奈 津 子	准教授
〃	山形県立保健医療大学	後 藤 順 子	准教授
〃	山形県立米沢女子短期大学	佐 藤 仁 喜 弥	事務局次長
〃	山形工科短期大学校	小 幡 知 之	副校長・准教授
〃	山形大学	矢 口 清	社会連携ユニット長
〃	山形県文化財保護推進課	半 田 晃 章	企画調査主査

担当： 山形大学人文学部 法経政策学科 下平 裕之 准教授
期日： 平成22年 4月14日（水）～平成22年 7月28日（水）
校時： 毎週水曜日 9・10校時（16：20～17：50）
場所： 山形大学基盤教育1号館2階 127番教室

山形県を流れている最上川は源流から河口まで229kmに及ぶ高大な河川であり、その流域の人々の暮らしと深くかかわっています。「最上川俯瞰講義」では、最上川に関連する各学問領域の先生方のリレー講義により、最上川の持つ独自性と多様性を学びます。

最上川について多角的に学ぶことを通じて山形県における自然と人間との共生のあり様を学び、同時に河川と人間との多様な関係についての理解を深めます。

○講義日等

開講日	講義担当教員	講義内容
4/14	山形大学 准教授 下平 裕之	ガイダンス
4/21	山形大学 教授 丸山 俊明	最上川の地層と化石
4/28	山形大学 教授 岩田浩太郎	紅花交易と山形
5/12	山形大学 名誉教授 前川 勝朗	最上川の水利
5/19	福島大学 特任教授 阿子島 功	最上川の地形景観(2)
5/26	東北文教大学 教授 大川 健嗣	最上川流域のむらづくり
6/2	東北公益文科大学 教授 大歳 恒彦	最上川下流および庄内地域における環境
6/9	山形大学 名誉教授 横山 昭男	最上川舟運の歴史と特色
6/16	山形大学 教授 大久保 博	山地溪流の河川環境
6/23	私立米沢中央高等学校 副校長 佐藤 五郎	最上川の水質と環境
6/30	山形大学 教授 半澤 直人	最上川の魚類
7/7	山形大学 教授 伊藤 清郎	最上川流域の歴史(古代・中世)
7/14	県立米沢女子短期大学 講師 原 淳一郎	最上川流域の宗教史
7/21	鶴岡工業高等専門学校 准教授 山田 充昭	古代の最上川と地域社会
7/28	県立保健医療大学 教授 山下 隆夫 准教授 後藤 順子	最上川流域の生活とツツガ虫

○受講者数 36名

○その他

・この科目は大学コンソーシアムやまがたの単位互換科目です。
山形大学以外の学生は、パソコンとインターネットを利用したeラーニング講義として受講できます。山形大学以外の学生の履修に関する問い合わせは、下記にお願いします。

山形大学大学連携推進室
TEL 023-628-4972

平成 22 年度前期開講科目

「最上川の匠たちに聞く I ～川・海分野～」担当教員一覧

期 日： 平成 22. 4. 12 ～ 平成 22. 7. 30

講義時間： 16 時 20 分 ～ 17 時 50 分

場 所： 山形大学小白川キャンパス

受講者： 21 名

(内 訳)

講義日	大学等名・職名・氏名	授 業 テ ー マ
4/12	・山形大学 准教授 出川 真也	ガイダンス
4/19	・酒田国道事務所副所長 斎藤信哉	最上川の治水と暮らしについて
4/26	・最上川第八漁業協同組合 組合長 鈴木春男	川漁文化～漁法と技術～
5/10	・最北漁業協同組合 田中良一	川漁文化～食文化～
5/17	・木村造船所 棟梁 木村雄一 (キャンセル) ・小山義雄氏 (最上川舟運の歴史・大石田町 北村山地域史研究会・会長)	産業～舟大工と舟運の歴史～
5/24	・仁三郎旅館 伊関氏	庄内浜の漁文化～漁法と技術～
5/31	・最上峡芭蕉ライン観光 (株) 鈴木富士雄	最上川と観光
6/ 7	・講師負傷の為出川先生が代講義	最上川流域の地域づくりについて
6/14	・東北文教大学 教授 大川 健嗣 ・志田菊宏	最上川と村づくり
6/21	・つるおかユースホステル 菊池良磨	最上川と庄内浜の自然
6/28	・東北文教大学短期大学部教授 菊地和博 ・舟玉神社 神主 正木尚文	川の信仰と歴史
7/ 5	・私立米沢中央高等学校 副校長 佐藤 五郎 ・最上川 元船頭 斎藤信夫	最上川の水質と舟運の歴史～水質環境変化と小鵜飼船～
7/12	・東北公益文科大学 准教授 呉 尚浩 ・パートナーシップオフィス スタッフ 佐藤丈晴	最上川・庄内浜と環境保全
7/26	・山形大学准教授 出川真也	最上川を基盤とした地域づくりと今後
7/30	・山形大学 准教授 出川 真也	まとめ

活動内容

○庄内町清川

- ・御殿林整備
- ・水辺の生き物調査
- ・山菜取り体験

最上川学推進センター隣の御殿林にて、自生する山菜を収穫し地元の方とともに料理した。また収穫した山菜の種類を記録し、それをハンドブックにまとめた。

○鶴岡市松ヶ岡

- ・水辺の生き物調査
- ・松ヶ岡の歴史文化散策・調査
- ・農業体験(里芋植え付け)

松ヶ岡の歴史について地元の方とともに開墾場を回り学習した。鶴岡と西郷隆盛のつながりなど意外なことをたくさん学べた。また農業体験では里芋の植え付けなどを体験させていただいたが、改めて農業の大変さを知った。

○酒田市中野俣

- ・間伐体験
- ・山間部の植物調査
- ・道普請

間伐作業を体験したが重労働であった。しかし間伐材は非常に安価で取り扱われていると話を聞き、費用対効果の割合の低さに驚かされた。道普請活動にも参加したが、地域の繋がりというものを感ずることが出来た。

○舟形町

- ・環境ビオトープ活動
- ・植物・生物調査

環境ビオトープ活動として荒れ地の整備を1日かけて行った。大変であったが1日かけただけあって、荒れ地が非常に綺麗になった。環境の維持の大変さを改めて知った。

○飛島

- ・島内の生活に関する調査
- ・島内の住民とのコミュニケーション

島内を回り、島民の方と語らいの時間があり島内の生活について色々教えて頂いた。コンビニなどの施設がなく不便であり、普段の我々の生活がどれほど便利なものか考えさせられた。その中でも参加者が全員で力を合わせ楽しく過ごす事が出来た。

○三瀬

- ・夜光虫観察
- ・マクロビ料理調理

講師の菊池良磨さんから三瀬の自然について色々学んだ。自然と人間の共生というものを考える良い機会になったと思う。

最上川の自然と文化（「教養科目」領域―「山形に学ぶ」）

Natural and Cultural Landscapes around Mogami River (General Study)

担当教員：下平 裕之（SHIMODAIRA Hiroyuki）

担当教員の所属：人文学部法経政策学科

開講学年：1年，2年，3年，4年 開講学期：後期 単位数：2単位 開講形態：実習

【授業概要】

・テーマ

「最上川の自然と文化」を自分の目で確かめ学ぶ。

・ねらい

最上川は、源流から河口まで229kmに及ぶ日本有数の河川です。山形県の大部分が最上川の流域に含まれ、最上川と私たちの生活は深いかかわりを持っています。最上川を通して山形の自然と文化の独自性と多様性を学びます。

・目標

最上川の自然と文化を自分の目で確かめることにより、河川と人間との相互関係についての理解を深め、自然と人間との共生のあり様を学びます。

・キーワード

最上川 文化遺産 自然と人間との共生 巡検

【授業計画】

・授業の方法

山形を発着点とした1泊2日の巡検を2回行い、最上川の上流から下流までの様々な自然・文化遺産を自分の目で確かめます。

・日程

（詳しくは授業開始時に改めて連絡します。）

[ガイダンス]

事前指導

10月下旬 1回目・最上川上流～中流

11月中旬 2回目・最上川中流～下流

まとめ

【学習の方法】

・受講のあり方

全ての巡検に参加し、主体的に学んでください。

・予習のあり方

図書館やインターネットで関連する事項について下調べをしてください。

・復習のあり方

巡検で学んだことをしっかり記録してください。

【成績評価の方法】

・成績評価基準

2回の巡検における学習態度とレポートで評価する。

・方法

巡検の受講状況と最終レポートを総合的に評価する。

【テキスト】

資料は、当日又は事前にBlackboardで配付されます。

【その他】

・履修に当たっての留意点

巡検はバスで移動するため、受講定員は40名程度となります。詳細については、事前説明会を行いますので、必ず参加してください。

・オフィス・アワー

（下平裕之）月・金曜日 9：30～10：30

・担当教員の専門分野

（下平裕之）経済学史 都市経済

大学コンソーシアムやまがた・単位互換授業担当

平成 22 年度後期開講 最上川の自然と文化(最上川巡検)
コース素案

第 1 回 10 月 16 日(土)～10 月 17 日(日)
置賜地区～村山地区

○1 日目 午前中

- 9 時 30 分 山形大学小白川キャンパス集合
↓移動(1 時間 15 分)
- 10 時 45 分 築沢大台(代)原(三沢東部小学校) 到着
・草木塔について学ぶ(15 分間講義)【説明者：米沢市役所・手塚】
- 11 時 00 分 築沢大台(代)原出発
↓移動(25 分)
- 11 時 25 分 直江石堤 到着
・直江石堤の役割について学ぶ(20 分間講義)
【説明者：米沢市役所・手塚】 ??今年定年退職??
- 11 時 45 分 直江石堤 出発
↓移動(5 分)
- 11 時 50 分 堀立川遊水地 到着
・遊水地の役割について学ぶ(5 分間講義) 【説明者：阿子島】
- 11 時 55 分 堀立川遊水地 出発
↓移動(5 分)
- 12 時 00 分 芳泉町到着
・芳泉町の街並み観察(5 分間講義) 【説明者：米沢市役所・手塚/伊藤?】
- 12 時 05 分 芳泉町出発
↓移動(5 分)
- 12 時 10 分 上杉神社到着(昼食 50 分)

午後

- 13時00分 上杉神社出発
↓移動(20分)
- 13時20分 黒井堰樋管到着
・堰の役割について学ぶ(20分間講義) 【説明者：??】
- 13時40分 黒井堰樋管出発
↓移動(15分)
- 13時55分 羽越水害水位標(バスからの観察のみ)
- 14時20分 長井市商家群
・旧商家の家を拝見(30分間) 【説明者：長井市役所へ依頼】
※工事中の可能性あり要確認
- 14時50分 長井市商家群出発
↓移動(5分間)
- 14時55分 船玉大明神(長井橋東岸)
・船玉大明神の石碑観察(10分間) 【説明者：長井市役所へ依頼】
- 15時05分 船玉大明神出発
↓移動(15分間)
- 15時20分 最上川洪水水位標(白鷹町菖蒲・バスからの観察のみ)
- 15時25分 黒滝神社到着
・舟道開削跡を徒歩見学(25分間) 【説明者：米沢中央高校 佐藤】
- 15時50分 黒滝神社出発
↓移動(15分間)
- 16時05分 白鷹町下山 ヤナ場到着(トイレ休憩)
- 16時20分 ヤナ場出発
↓移動(10分間)
- 16時30分 上郷ダム到着
・ダムについて(5分間講義) 【説明者：福島大 阿子島】
- 16時35分 上郷ダム出発
↓移動(10分間)
- 16時45分 五百川溪谷・河岸段丘到着 【説明者：福島大 阿子島】
↓移動(20分)
- 17時05分 日本一公園到着
・徒歩見学 左沢楯山城 【説明者：山大 伊藤(清)】

宿泊先へ

○2日目 午前中

- 09時30分 宿泊先出発
↓移動(20分)
- 09時50分 寒河江市 高瀬山到着
・高瀬山と最上川を観察(20分間講義) 【説明者：阿子島】
- 10時10分 高瀬山出発
↓移動(15分)
- 10時25分 中山町河川防災センター到着
・職員の方より講義(30分間) 【説明者： 】
- 10時55分 河川防災センター出発
↓移動(5分間)
- 11時00分 天童市寺津 三日月湖到着
・三日月湖観察(20分間) 【説明者：阿子島 】
- 11時20分 三日月湖出発
↓移動(15分)
- 11時35分 天童市沼田 西沼田遺跡到着
・西沼田遺跡についての解説(20分間) 【説明者：阿子島 】
- 11時55分 西沼田遺跡出発
↓移動(10分間)
- 12時05分 道の駅天童到着(昼食 55分)

午後

- 13時00分 道の駅天童出発
↓移動(20分間)
- 13時20分 東根市小見 小見川到着
・ イバラトミヨと最上川旧河道について(10分講義) 【説明者: 阿子島】
- 13時30分 小見川出発
↓移動(30分間)
- 14時00分 村山市大久保 遊水地見学
・ 大久保遊水地について(10分間講義) 【説明者: 阿子島】
- 14時10分 大久保遊水地出発
↓移動(20分間)
- 14時30分 最上川三難所到着
・ 三難所について(20分間講義) 【説明者: 山形大名誉教授 横山】
- 14時50分 三難所出発
↓移動(1時間10分)
- 16時00分 山形大学小白川キャンパス到着 解散

平成 22 年度後期開講 最上川の自然と文化(最上川巡検)

コース素案

第 2 回 11 月 20 日(土)～11 月 21 日(日)

村山地区北部～最上地区～庄内地区

○1 日目

- 8 時 30 分 山形大学小白川キャンパス集合
↓移動(1 時間)
- 09 時 30 分 大石田町特殊堤防地点 到着
・特殊~~堤防~~堤防についての講義(10 分間講義)
【説明者：山大 横山・大石田町教育委員会 海藤】
- 09 時 40 分 特殊堤防地点出発
↓移動(5 分)
- 09 時 45 分 乗船寺 到着
・見学(15 分間) 【説明者： 】江戸時代の最上川舟運とのかかわり
- 10 時 00 分 乗船寺 出発
↓移動(35 分)
- 10 時 35 分 舟形町猿羽根山 歴史博物館 到着
・昔の暮らしについてまなぶ(25 分間講義) 【説明者： 】
- 11 時 00 分 舟形町猿羽山 歴史博物館 出発
↓移動(5 分)
- 11 時 05 分 舟形町長者原 到着
・活断層観察(10 分間講義) 【説明者：阿子島】
- 11 時 15 分 舟形町長者原 出発
↓移動(20 分)
- 11 時 35 分 高麗館到着(昼食 40 分)

- 12時15分 高麗館出発
↓移動(10分)
- 12時25分 最上川舟下り船着き場到着
- 12時50分 舟出港
・舟下り体験(1時間) 【説明者：芭蕉ライン・鈴木社長】
- 13時50分 舟下り終了
- 13時55分 舟下り下り場出発
↓移動(15分)
- 14時10分 白糸の滝
・白糸の滝観察 トイレ休憩
- 14時30分 白糸の滝出発
↓移動(5分)
- 14時40分 さみだれ大堰到着
・水中観察(40分間) 【説明者：国交省職員】
- 15時20分 さみだれ大堰出発
↓移動(5分間)
- 15時25分 最上川学推進センター到着
・笹舟乗船体験・立谷沢の魚道観察(50分間) 【説明者：出川准教授】
- 16時25分 最上川学推進センター出発

宿泊先へ

○2 日目

- 09 時 00 分 宿泊先出発
↓移動(15分)
- 09 時 15 分 庄内町 立川ウインドファーム 到着
・風力発電説明(30分間講義)【説明者： 】
- 09 時 45 分 庄内町 立川ウインドファーム 出発
↓移動(10分)
- 09 時 55 分 庄内町余目 最上川氾濫原 到着
・講義(20分)【説明者：阿子島】
- 10 時 15 分 庄内町余目 最上川氾濫原 出発
↓移動(30分)
- 10 時 45 分 羽黒山・手向 到着
・五重塔見学 手向の宿坊風景景観【説明者： 】
- 11 時 35 分 羽黒山・手向 出発
↓移動(25分)
- 12 時 00 分 庄内観光物産館 到着(昼食 45分)

- 12時45分 庄内観光物産館 出発
↓移動
- 13時15分 酒田市城輪柵跡 到着
・講義(20分) 【説明者：酒田市教委？ (説明板あり。阿子島で代理可
古代の交通路について=伊藤先生??)】
- 13時35分 酒田市城輪柵跡 出発
↓移動(10分)
- 13時45分 酒田市立資料館 到着
・資料館見学(20分) 【説明者： 最上川舟運資料を中心に】
- 14時05分 酒田市立資料館 出発
↓移動(10分)
- 14時15分 山居倉庫 到着
山居倉庫散策(20分) 【説明者： 】
- 14時35分 山居倉庫 出発
↓移動(5分)
- 14時40分 酒田市日和山 到着
・庄内砂丘、海岸林、灯台散策(30分) 【説明者： (中島理事?) 】
- 15時10分 酒田市日和山 出発
↓移動(2時間)
- 17時10分 山形大学小白川キャンパス到着

最上川の匠たちに聞くⅡ～森・里分野～（「教養科目」 領域—「山形に学ぶ」）

英語名表記

担当教員：出川 真也 (DEGAWA Shinya)

担当教員の所属：大学連携推進室

開講学年：1年、2年、3年、4年 開講学期：後期 単位数：2単位 開講形態：講義

【授業概要】

・テーマ

最上川流域の農山村に暮らす人々と専門家から現場の生きた知恵と技術を多角的視点から学ぶ。

・ねらい

最上川流域の森・里分野において、地元実践者と研究者の連携リレー講義により自然・文化・歴史を多様な観点から知るとともに、受講学生の今後の研究や地域貢献のありかたへの思索を深める。

・目標

最上川流域の森と里(農山村地域)を素材にして地元実践者と研究者の双方から流域の暮らしを多角的に学ぶことを通じ、受講学生各々の専門分野に通底する課題への対処能力や価値の再発見・再創造の思考プロセスを磨きます。また、地域づくりや地域貢献についての基本的考え方を習得します。

・キーワード

最上川 森 里 地元実践者(またぎ、農家など) 環境保全 NPO活動 地域づくり

【授業計画】

・授業の方法

テレビ会議システムを利用して、地元実践者と県内複数の大学の教員を結んでリレー講義を展開します。

・日程

(詳しくは授業開始時に改めて連絡します。)

10/4 [ガイダンス] 受講方法説明

授業内容

- ・森の自然Ⅰ～里山の自然～
- ・森の自然Ⅱ～最上峡の原生林～
- ・森の文化～またぎと暮らし～
- ・森の文化～食文化～
- ・里の信仰と自然神
- ・里の民具と工芸品
- ・里の産業Ⅰ～農業・米・畑～
- ・里の産業Ⅱ～山菜その他～
- ・里の産業Ⅲ～温泉と観光～
- ・里の暮らしと年中行事
- ・里のコミュニティと相互扶助
- ・最上川流域の里地里山環境保全の試み
- ・最上川流域を里地里山地域づくりと今後
- ・まとめ

【学習の方法】

・受講のあり方

すべての講義に参加し、主体的に学んでください。講義はテレビ会議システムを利用して地元実践者から話を聞くことになるので、あらかじめ質問等を準備しておくことが望ましいです。

・予習のあり方

図書館やインターネットで関連する事項について下調べをしてください。

・復習のあり方

講義で学んだことを記録し、必要があれば関連する資料を参照し理解を深める。また、本講義で運営するインターネットサイト「最上川学.net」：<http://mogamigawa-gaku.net/>への書き込みや情報交換を行います。

【成績評価の方法】

・成績評価基準

平常点とレポートで評価する。

・方法

地元実践者も交えて平常点とレポートで総合的に評価する。

【テキスト】

「森、里、川、海をつなぐ自然再生」 中央法規 2005年 その他の資料は講義開始時に配布する。

【その他】

・履修に当たっての留意点

本講義は、同じく前期に開講される「最上川俯瞰講義」の各論に位置付けられます。より理解を深められるためにあわせて受講することをお勧めします。

地元実践者の皆さんは方言(庄内弁や最上弁など)を使うことから、特に県外出身者の学生には聞き取りづらいことも予想されますので、その都度聞き直すなどしてコミュニケーションを図ってください。

・オフィスアワー

(出川真也) 月曜日 10:00～11:00

・担当教員の専門分野

(出川真也) 社会教育 成人教育 文化人類学

大学コンソーシアムやまがた・最上川学担当

最上川の匠たちに出会うⅡ～秋冬分野（「教養科目」 領域—「山形に学ぶ」）

英語名表記

担当教員：出川 真也 (DEGAWA Shinya)

担当教員の所属：大学連携推進室

開講学年：1年、2年、3年、4年 開講学期：後期 単位数：2単位 開講形態：実習

【授業概要】

・テーマ

秋～冬の最上川流域の農山漁村を訪れ、暮らしの知恵や技術を地元住民と共に学び体験する。

・ねらい

最上川流域における実地調査・活動を通じ、地元講師の生きた知恵と技術に触れながら暮らしと地域課題についての理解を深める。また、研究活動における地域連携・貢献のための実践的スキルを身につける。

秋冬分野では特に里地里山を中心とした集落での体験型授業を実施する。

・目標

最上川流域の農山漁村に暮らす人々とのコミュニケーションを深め、地元学による住民参加型現地調査を行い、地元住民と一緒に秋冬に取り組める地域づくり実験プログラムを立案し実施します。

・キーワード

最上川 農山漁村 地元学(Local Study Workshop) フィールドワーク 地元住民とのコミュニケーション

【授業計画】

・授業の方法

フィールドワークに必要な基礎知識をガイダンス及び事前指導で各大学キャンパスにて行い(テレビ会議システムを利用します)、6班に分かれて1泊2日の現地活動を2回行います。1回目は地元学による地域調査、2回目は調査をもとに立案した地域づくり実験プログラムを実施します。活動結果を各大学キャンパスにてプレゼンテーションし、テレビ会議システムを通じて放映します。

・日程

(詳しくは授業開始時に改めて連絡します。)

10月上旬 [ガイダンス] 受講方法説明

事前指導

10月～1月 (下記のうちいずれか一つを選択して取り組むことになります。)

10月下旬 庄内町清川：秋の川漁文化 1泊2日×2回

11月上旬 金山町田茂沢：里の収穫祭と農業文化 1泊2日×2回

下旬 最上町満沢：里の馬文化 1泊2日×2回

12月上旬 鶴岡市関川：里の工芸品～しな織の里を訪ねて 1泊2日×2回

下旬 酒田市中野俣：里の年中行事 1泊2日×2回

1月上旬 : 里山の冬仕事 1泊2日×2回

下旬 まとめとプレゼンテーション

【学習の方法】

・受講のあり方

事前指導、フィールドワーク、プレゼンテーションという一連のすべての学習プログラムに主体的に参画してください。

・予習のあり方

図書館やインターネットで関連する事項について下調べをしてください。

・復習のあり方

実習で学んだことを記録し、必要があれば関連する資料を参照し理解を深める。また、本講座で運営するインターネットサイト「最上川学.net」<http://mogamigawa-gaku.net/>への書き込みや情報交換を行います。

【成績評価の方法】

・成績評価基準

レポートと最終回のプレゼンテーションで評価する。

・方法

地元指導者も交えてレポートと最終回のプレゼンテーションで総合的に評価する。

【テキスト】

「森、里、川、海をつなぐ自然再生」 中央法規 2005年 その他の資料はガイダンスや実習時に配布する。

【その他】

・履修に当たっての留意点

本実習は、同じく後期に開講される「最上川の自然と文化」の各論に位置付けられます。より理解を深めるためにあわせて受講することをお勧めします。

地元実践者の皆さんは方言(庄内弁や最上弁など)を使うことから、特に県外出身の学生には聞き取りづらくも予想されますので、その都度聞き直すなどしてコミュニケーションを図ってください。

・オフィスアワー

(出川真也) 月曜日 10:00～11:00

・担当教員の専門分野

(出川真也) 社会教育 成人教育 文化人類学

大学コンソーシアムやまがた・最上川学担当

最上川学事業 後期授業と活動予定（匠たちに聞く・出会う、フォーラム等概要）

1、最上川の匠たちに聞く 後期授業予定

○内容と地元講師予定者

- ・10月4日ガイダンス（毎週月曜日 16：20～17：50 開講）
- ・森の自然Ⅰ～里山の自然～ 講師予定者：角川の里 田中良一
- ・森の自然Ⅱ～最上峡の原生林～ 講師予定者：未定・調整
- ・森の文化～またぎと暮らし～ 講師予定者：角川の里 斎藤久一
- ・森の文化～食文化～ 講師予定者：中野俣を元気にする会 阿曾智子
- ・里の信仰と自然神 講師予定者：未定・調整中
- ・里の民具と工芸品 講師予定者：関川しな織の里共同組合
- ・里の産業Ⅰ～農業・米・畑～ 講師予定者：金山 田茂沢道草ぶんこう 岸正弘
- ・里の産業Ⅱ～山菜その他～ 講師予定者：未定・調整中
- ・里の産業Ⅲ～温泉と観光～ 講師予定者：肘折温泉協会・最上町観光協会小林氏
- ・里の暮らしと年中行事 講師予定者：角川の里 安食時子
- ・里のコミュニティと相互扶助 講師予定者：出川
- ・流域の里地里山環境保全の試み 講師予定者：未定・調整中
- ・流域の里地里山地域づくり 講師予定者：出川
- ・振り返りワークショップ

※詳細の日程についてはただいま調整中です。地元講師の調整と共に各大学の関連分野の先生方へのアドバイス・講師依頼を検討しています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2、最上川の匠たちに出会う 後期授業予定

○日程・活動場所・内容

- ・10月30～31日・12月4～5日
金山町田茂沢道草ぶんこう 「冬ごもりの里山の自然・文化」
- ・12月11～12日・12月18～19日
最上町みつざわ里の資源研究所 「郷土料理と地域資源」
- ・12月25～26日・1月15～16日
酒田市中野俣・庄内町清川 「冬の山仕事から学ぶ」

※当初6日程・6か所の予定でしたが、予算縮減の関係で3日程・4か所のフィールドワークを行う方向で検討しております。

上記の内容と活動場所を検討していますが、現地の農業日程・行事日程のずれ込みにより変更する場合があります。予めご了承ください。

3、最上川学フォーラムⅢの開催について（案）

フォーラムの開催について下記の通り検討しています。

開催期日 11月～12月の土・日

詳細日程調整を各大学間と9月～10月初めの期間で行いたいと考えています。

開催場所 山形市 ゆうキャンパスステーション

内容 今年度開講した最上川学授業の成果報告・学生たちによる発表

大学教員と地元講師を交えた討論会を予定したいと考えています。

・テーマ 最上川流域の学びが学生たちにもたらすもの—現状と今後の期待—

・構成 ・授業成果報告

（最上川巡検・最上川の自然と文化・最上川の匠たちに聞く・最上川の匠たちに出会う）

・学生たちによる発表

・講師・担当教員を交えた討論会

4、来年度に向けての方向性について

フォーラムでも検討したいと考えていますが、授業や学生たちの独自活動、地域活動をより一層支援し充実していくために、山形の魅力を再生し伝える地域・学生・教員による地域大学連携プロジェクト（教育・研究・地域づくり）を具体的に検討していきたいと考えています。

詳細については次回の委員会およびフォーラムにおいて検討できるよう、各大学からの助言指導を仰ぎたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。